



海津市まちづくり委員会

第8回

安全・安心まちづくり検討分科会資料

2011年11月11日

岐阜経済大学 菊本舞

本日の分科会について

- 前回分科会のふりかえり
- テーマとワークショップ
 - ①連携組織の構成と役割のモデルをつくる
 - 連携組織についての図式化
 - 安心安全まちづくり団体としての役割
 - ②住民参加を促すための取組
 - Step1: なぜ参加しないのだろう？
 - Step2: 参加者を増やすためには？
 - Step3: 参加する方が得すると思わせるためには、あるいは楽しいと思わせるためには何をしよう？

関心を高めるための4つのポイント(あくまで基本)

- 1. まちの問題点や課題警察や行政から得られた一般的な危険箇所などの情報などを紹介
- 2. まちを体験する機会とその報告
 - まち歩き・まち点検などのイベントを開催
 - イベント後、防犯に関するまちの問題点を含め報告
- 3. 住民が取り組む必要性をアピール
 - 防犯まちづくりの基礎知識も紹介
- 4. 活動イメージを知らせる先行事例を紹介するなどを通じて、防犯まちづくりの活動イメージを周知

多くの人に関わる仕組みとしての「防犯まちづくり」を考える

- 地域防犯活動にまちづくりを組み合わせる
- もともとある地域イベントに、「防犯まちづくり」の視点を追加する
- 中心に実施するメンバーが楽しい！と思える企画をする
- 子どもの参加できる企画を考える
 - 学校業務の一環として実施できる工夫ができると学校の協力も得やすい
 - 例: 子どもたちによる地域パトロールと安全マップ(ガリバーマップ)づくり
 - 夏休みの特別企画として昼版と夜版を実施
 - 特に夜版は子どもたちにとっては、通常ない体験
 - 子ども目線で防犯に取り組むきっかけとなる

運営資金:足立区第十一中学校区 地域株「花むすび基金」

○「花むすび活動」

- 地域と学校が連携して通学路や学校を花で飾る運動
- 地域に開かれた学校と、地域全体で学校を見守る地域づくりを進める

○活動の経済的自立

- 地域株を発行する「花むすび基金」を設立。地域株という名称だが、花の“株”をかけたネーミング。実際には寄付。
 - 地域株の発行
 - 1株2000円。年に1度、広報誌で株主を募集。
 - 株は1年度限り有効。
 - 持続させるために
 - 個人は1株限定(団体会社も最大5株まで)。長く続けるため寄付者に無理のない設定金額。
 - 株主には使い道を明確に報告。